文
文法

尊敬語と けんじょう語

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ



こたえ

- 1　(1) ㋐ 尊敬語　(2) ㋑ けんじょう語　(3) ㋐ 尊敬語　(4) ㋑ けんじょう語
  (5) ㋐ 尊敬語　(6) ㋑ けんじょう語　(7) ㋐ 尊敬語　(8) ㋑ けんじょう語

みてあげる ところ

- 動作を する 人が 先生・お客様なら 尊敬語、わたし・母（自分の 家族）なら けんじょう語です。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

文
文法

特別な 言葉の 敬語

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ



こたえ

- 1　(1) いらっしゃる・うかがう　(2) おっしゃる・申す　(3) めし上がる・いただく
  (4) ご覧になる・はいけんする　(5) なさる・いたす

みてあげる ところ

- 行くの けんじょう語は「まいる」も ありますが、ここでは 下の 言葉から 選びます。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

文
文法

しょうがく6ねんせい ・ こくご ・ k6-52

敬語の まちがいを 直そう

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ



こたえ

- 1　(1) ㋑ おっしゃった　(2) ㋑ めし上がって　(3) ㋐ うかがいます
  (4) ㋑ ご覧になった　(5) ㋐ 申して おりました　(6) ㋑ お取りください
  (7) ㋐ まいります　(8) ㋐ お会いします

みてあげる ところ

- 5と 7は、外の 人に 自分の 家族の ことを 話すので、けんじょう語を 使います。6の「お～して ください」は、相手の 動作に けんじょう語の 形を 使った まちがいです。

書体: Klee One（SIL Open Font License）